

マルチメディア ユーザーガイド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国
Microsoft Corporation の米国およびその他の
国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービスに
関する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されている
ものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。

初版：2009年2月

製品番号：512512-291

製品についての注意事項

このユーザーガイドでは、ほとんどのモデ
ルに共通の機能について説明します。一部
の機能は、お使いのコンピューターでは使
用できない場合があります。

目次

1 マルチメディア機能

マルチメディア コンポーネントの確認	1
音量の調整	3
メディア操作機能の使用	4
メディア ボタンの使用	4
前/早戻しボタン	4
再生/一時停止ボタン	5
次/早送りボタン	5
停止ボタン	5
メディア操作ホットキーの使用	5

2 マルチメディア ソフトウェア

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用	8
プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用	9
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	10

3 オーディオ

外付けオーディオ デバイスの接続	11
オーディオ機能の確認	11

4 動画

外付けモニターまたはプロジェクターの接続	13
HDMI デバイスの接続	14
HDMI を使用したオーディオの設定	14
コンピューターに搭載されているグラフィックス カードの種類の確認	14
HDMI をオーディオ再生の初期デバイスに設定	15

5 オプティカル ドライブ

取り付けられているオプティカル ドライブの確認	16
オプティカル ディスクの使用	16
正しいディスク (CD、DVD、および BD) の選択	17
CD-R ディスク	17
CD-RW ディスク	18

DVD±R ディスク	18
DVD±RW ディスク	18
LightScribe DVD+R ディスク	18
ブルーレイ ディスク (BD)	18
音楽の再生	19
動画の再生	20
DVD の地域設定の変更	20
CD または DVD の作成 (書き込み)	21
CD、DVD、または BD の取り出し	22

6 Web カメラ

7 トラブルシューティング


オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合	24
コンピューターが CD、DVD、または BD ドライブを検出しない場合	25
CD、DVD、または BD が再生できない場合	25
CD、DVD、または BD が自動再生されない場合	26
DVD または BD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合	26
DVD または BD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合	27
CD または DVD ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合	27
DVD または BD を [Windows Media Player] で再生したときに音や画面が出ない場合	27
デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合	27
最新の HP デバイス ドライバーの入手	28
最新の Windows デバイス ドライバーの入手	29

索引	30
----------	----

1 マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ボタンとホットキー

 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。



名称	説明
(1) 内蔵デジタル デュアル アレイ マイク (×2)	サウンドを録音します
(2) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(3) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(4) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(5) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ (×2)	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します
(6) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(7) ミュート (消音) ボタン	スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりします
(8) 音量調整スライダー	スピーカーの音量を調整します。左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。スクロール ゾー

警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください

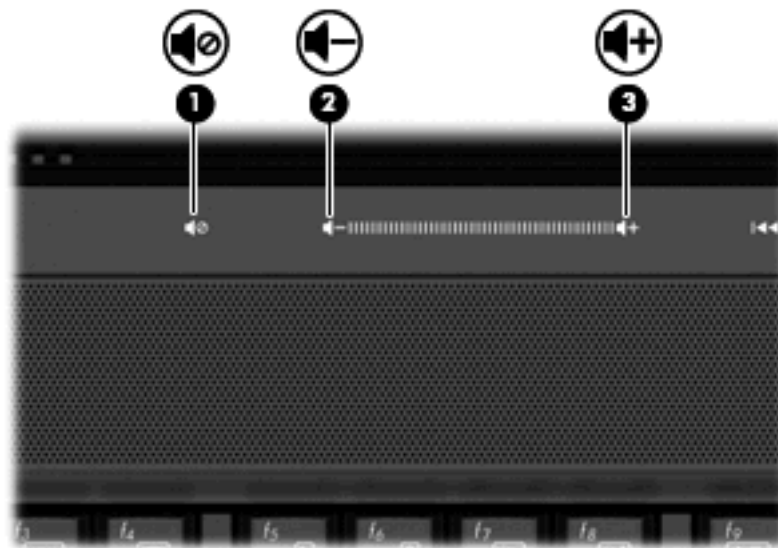
注記： ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります

名称	説明
	のマイナス（-）記号をタップして音量を下げたり、プラス（+）記号をタップして音量を上げたりすることもできます

音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピューター本体の音量調整デバイス：
 - 音を消したり音量を元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（1）を押します。
 - 音量を下げるには、音量調整スライダーで指を右から左にスライドさせるか、音量下げボタン（2）を押します。
 - 音量を上げるには、音量調整スライダーで指を左から右にスライドさせるか、音量上げボタン（3）を押します。



- Windows®の[ボリューム コントロール]：
 - a. タスクバーの右端にある通知領域の[音量]アイコンをクリックします。
 - b. スライダーを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。[ミュート]アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

または

- a. 通知領域の[音量]アイコンを右クリックして、[音量ミキサーを開く]をクリックします。
- b. 音量を調整するには、[ボリューム コントロール]列で[音量]スライダーを上下に移動します。[ミュート]アイコンをクリックして音を消すこともできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

- a. 通知領域で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- b. [通知領域]タブをクリックします。

- c. [システム]アイコンの下の[音量]チェックボックスにチェックを入れます。
- d. [OK]をクリックします。
- プログラムの音量調整機能
プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

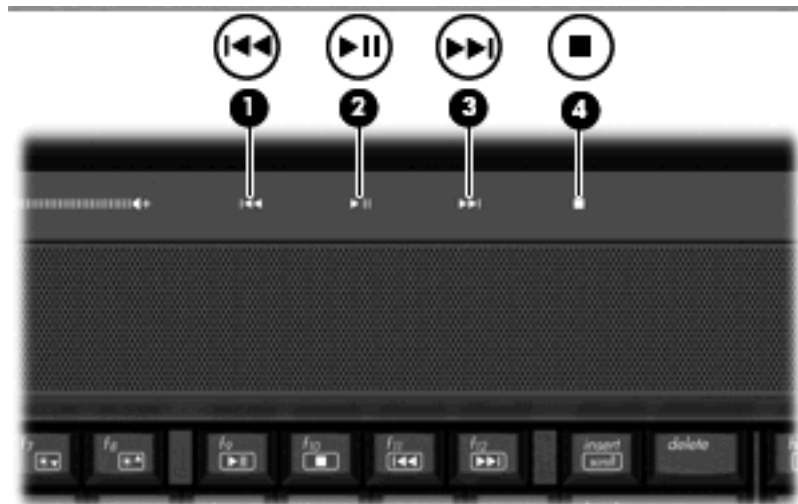
メディア操作機能の使用

メディア ボタンとメディア操作ホットキーは、オプティカル ドライブ内のディスクの再生を制御します。

メディア ボタンの使用

ディスクがオプティカル ドライブに挿入されているときのメディア ボタンの機能を、以下の図と表に示します。

- 前/早戻しボタン (1)
- 再生/一時停止ボタン (2)
- 次/早送りボタン (3)
- 停止ボタン (4)



前/早戻しボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	前/早戻しボタン	前のトラックまたはチャプターを再生します
再生中	fn + 前/早戻しボタン	再生を早戻しします

再生/一時停止ボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生していない	再生/一時停止ボタン	ディスクを再生します
再生中	再生/一時停止ボタン	再生を一時停止します

次/早送りボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	次/早送りボタン	次のトラックまたはチャプターを再生します
再生中	fn + 次/早送りボタン	再生を早送りします

停止ボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	停止ボタン	再生を停止します

メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、fn キー (1) とファンクションキー (2) の組み合わせです。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合、fn + f9 (3) を押すとディスクが再生されません。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のホットキーを使用できます。
 - ディスクの再生を一時停止または再開するには、fn + f9 (3) を押します。
 - ディスクを停止するには、fn + f10 (4) を押します。
 - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプターを再生するには、fn + f11 (5) を押します。
 - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプターを再生するには、fn + f12 (6) を押します。




2 マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディアソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、[HP MediaSmart]およびプリインストールされている他のマルチメディアソフトウェアの詳細について説明します。

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテインメント ツールに変わります。[HP MediaSmart]を使用すると、音楽や DVD および BD の動画を楽しむことができます。また、インターネット TV や放送中のテレビの視聴（一部のモデルのみ）、および写真コレクションの管理や編集を行うことができます。

 **注記：** 内蔵 TV チューナー（一部のモデルのみ）または外付け TV チューナー（別売）を使用して、放送中のテレビをコンピューターで視聴、録画、および一時停止できます。

[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。


- インターネット TV（一部のモデルのみ）：インターネット接続によって、従来のさまざまなテレビ番組とチャンネルに加え、コンピューターにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフルスクリーンでご覧いただけます。
- 写真および動画のアップロードに対応しています。
 - [HP MediaSmart]の写真を Snapfish などのインターネット上の写真共有サイトにアップロードできます。
 - ホーム ビデオ（内蔵 Web カメラで作成した楽しい動画など）を YouTube にアップロードできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。
- ▲ [HP MediaSmart]を起動するには、コンピューターのデスクトップにある[HP MediaSmart]アイコンをダブルクリックします。

[HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してから、[検索]ボックスに「MediaSmart」と入力します。

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。


- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、**[Windows Media Player]**をクリックします。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

3 オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）またはFM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるように、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。


1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックします。

3. **[サウンド]**をクリックします。
4. **[サウンド]**ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム]**でビーブやアラームなどの任意のサウンドイベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[サウンドレコーダー]**の順に選択します。
2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. **[Windows Media Player]**または**[HP MediaSmart]**を開き、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

- ▲ コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**アイコンの順に選択します。

4 動画

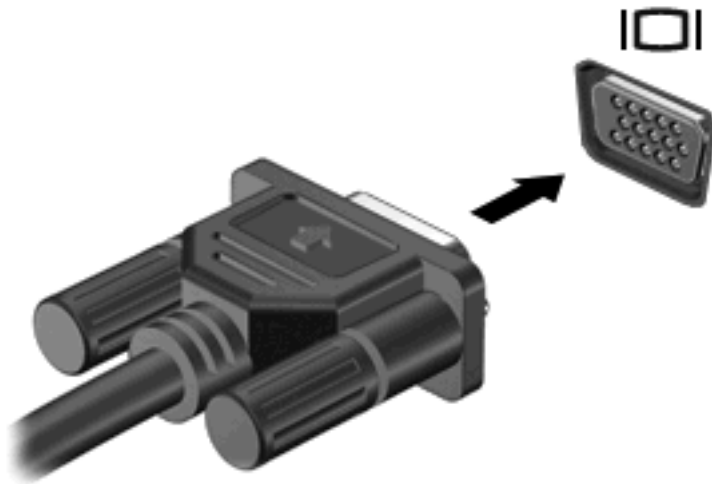
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。




注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイ스에 画像が表示されない場合は、**fn + f4** キーを押して画像をデバイスに転送します。**fn + f4** を繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続

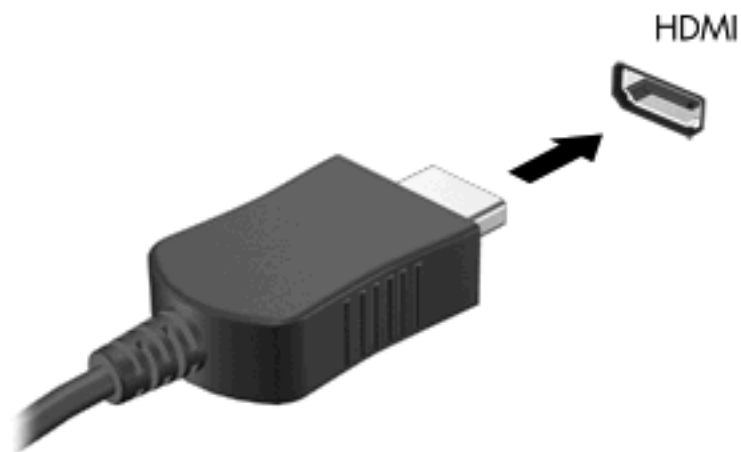
コンピューターには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

 **注記：** HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、一般の電器店で販売されている HDMI ケーブルを別途購入する必要があります。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの **fn + f4** キーを押します。

HDMI を使用したオーディオの設定

最高の音質を得るには、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続し、メディア プログラムに[HP MediaSmart]を使用します。

また、コンピューターに搭載されているグラフィックス カードの種類を確認し、そのグラフィックス カードに対応したオーディオ再生の初期デバイスを設定しておく必要があります。

コンピューターに搭載されているグラフィックス カードの種類の確認

- ▲ コンピューターのキーボードのラベルを確認します。

または

1. [スタート]→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックしてから、[ディスプレイ アダプター]の横のプラス（+）記号をクリックします。

HDMI をオーディオ再生の初期デバイスに設定

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]アイコンの順に選択します。
2. [再生]タブ→[デジタル出力デバイス（HDMI）]→[既定値に設定]の順にクリックします。
3. [OK]をクリックします。
4. [HP MediaSmart]を起動するか、すでに実行中の場合は再起動します。

5 オプティカル ドライブ


お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張するオプティカル ドライブが搭載されている場合があります。コンピューターに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピューターにブルーレイ ディスク ROM ドライブが内蔵されている場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

お使いのコンピューターに取り付けられている、オプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。


- LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)

 **注記：** 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合があります。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM などのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク (CD および DVD) に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい記憶容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。お使いのオプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブであれば、ブルーレイ ディスクの読み取りもできます。

 **注記：** ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピューターでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

光学ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+RW DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ/ LightScribe DVD±RW および CD-RW コンボ (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	可
LightScribe/スーパーマ ルチ DVD±R/RW 対 応ブルーレイ ディスク ROM (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	可
スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブ ルーレイ ディスク ROM (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	不可

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化や情報の損失、または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイパネーションを開始しないでください。

正しいディスク (CD、DVD、および BD) の選択

光学ドライブは、光学ディスク (CD、DVD、および BD) に対応しています。デジタルデータの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD および BD のフォームファクターは CD と同じですが、はるかに大きい容量を扱うことができます。

📖 **注記：** お使いのコンピューターに取り付けられている光学ドライブによっては、この項目で説明している一部の光学ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R ディスク (ライトワンス) は、主に必要に応じて共有できるデータの永続的なコピーを作成するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオクリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を永久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最も適しています。

LightScribe DVD+R ディスク


LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤーでの読み取りに対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク (BD)

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。


通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生と保存
- ビデオ ゲーム

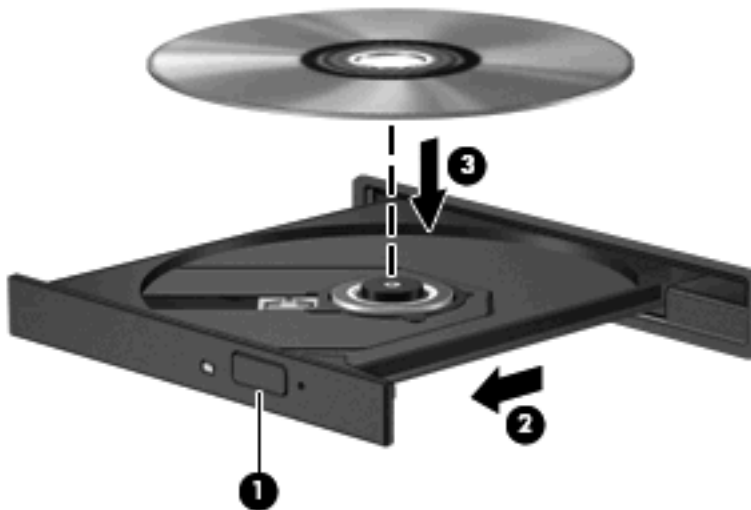
 **注記：** ブルーレイは新技術を搭載した新しいフォーマットであるため、一部のディスク、デジタル接続、互換性、またはパフォーマンスに問題が起こる可能性があります。これは欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

音楽の再生


1. コンピューターの電源を入れます。
2. オプティカルドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスク トレイを閉じます。
7. 自動再生の動作を設定していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。[HP MediaSmart]または[Windows Media Player]を選択します。これらはどちらもお使いのコンピューターにプリインストールされています。

 **注記：** ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。


ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、以下のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたは動画の再生を再開しなければならない場合があります。

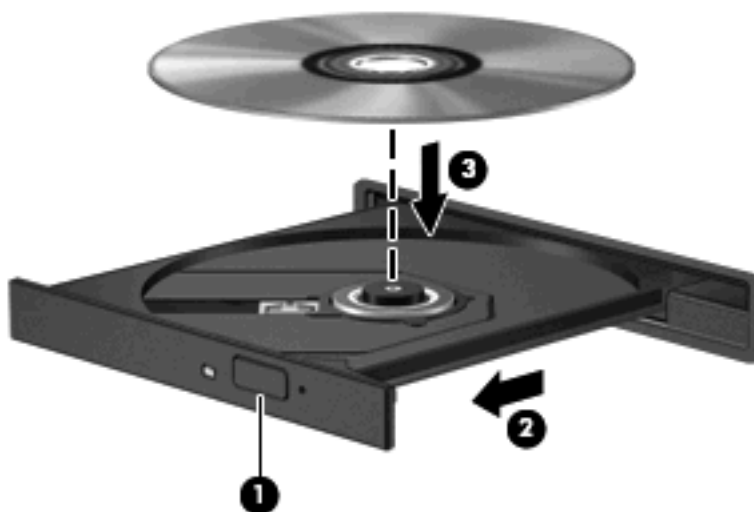
動画の再生

オプティカルドライブを使用して、ディスクの動画を鑑賞できます。別売のブルーレイ ディスク ROM ドライブがコンピューターに搭載されている場合は、HD 対応動画の鑑賞もできます。


1. コンピューターの電源を入れます。
2. オプティカルドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスクトレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスクトレイを閉じます。
7. 再生/一時停止ボタンを押してから[DVD]アイコンをクリックし、画面の説明に沿って操作して[HP MediaSmart]のDVD再生機能を起動します。

 **注記：** HD 対応動画を鑑賞するには、[HP MediaSmart]を使用する必要があります。標準的な形式の動画を再生するには、[HP MediaSmart]またはその他のマルチメディアソフトウェアを使用できます。

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。


△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側のパネルで、[デバイス マネージャー]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。


3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号 (+) をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブで変更を行います。
6. [OK]をクリックします。

CD または DVD の作成（書き込み）

お使いのコンピューターに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータ、動画、およびオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。


- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤーは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できません。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカルドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するプログラムの名前を選択します。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。


4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックしてから**[エクスプローラー]**をクリックし、元のファイルが保存されているフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカルディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

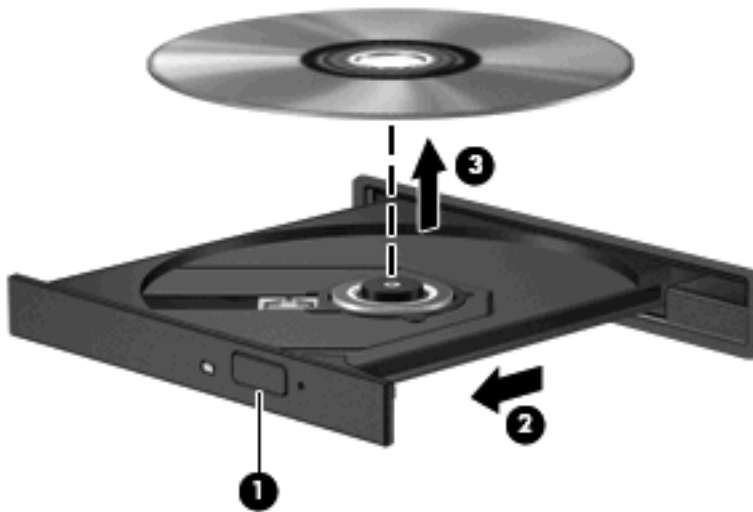
手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータープログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

CD、DVD、または BD の取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。




3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

6 Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。

Web カメラを使用するには、デスクトップの **[HP MediaSmart]** アイコンをクリックし、[HP MediaSmart]の[SmartMenu]から該当するアイコンを選択して**[Webcam]**をクリックします。

 **注記：** [HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順にクリックしてから、[検索]ボックスに「MediaSmart」と入力します。

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。


- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。
- できる限りカメラの後方から明るい光源を当て、写真領域の外に移動してください。

7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

光学ディスクトレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスクトレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターが CD、DVD、または BD ドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合、そのデバイスのドライバー ソフトウェアがないか、壊れている可能性があります。オプティカルドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカルドライブが[デバイス マネージャー]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャー」と入力します。
入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックします。ユーザー アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、[続行]をクリックします。
4. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、マイナス記号（-）がすでに表示されている場合を除き、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号（+）をクリックします。オプティカルドライブの一覧を確認します。

ドライブが表示されていない場合は、「デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合」セクションの説明に沿って、デバイス ドライバーをインストール（または再インストール）します。

CD、DVD、または BD が再生できない場合

- ディスクを再生する前に作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- ディスクを再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下ようになります。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの[再生]ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
 - プリンターやスキャナーなどの外付けデバイスの電源を切り、外付けカメラや Pocket PC などの外付け携帯デバイスの電源ケーブルを抜きます。これらのプラグ アンド プレイ デバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[個人設定]→[画面の設定]の順に選択します。
 2. 設定がまだ選択されていない場合は、[画面の色]を[中 (16 ビット)]に設定します。

CD、DVD、または BD が自動再生されない場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]の順にクリックします。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [保存]をクリックします。


これで、ディスクをオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

DVD または BD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
 - インターネットからログオフします。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[個人設定]→[画面の設定]の順に選択します。
 2. 設定がまだ選択されていない場合は、[画面の色]を[中 (16 ビット)]に設定します。
 - プリンター、スキャナー、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD または BD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、**fn + f4** を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニターの設定を行います。
 - a. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。
 - b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

 **注記：** 両方のディスプレイを使用する場合は、動画の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

CD または DVD ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- **[デバイス マネージャー]**の**[DVD/CD-ROM ドライブ]**カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

DVD または BD を**[Windows Media Player]**で再生したときに音や画面が出ない場合

[HP MediaSmart]を使用して DVD または BD を再生してください。[HP MediaSmart]はコンピューターにインストールされています。また、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>からも入手できます。


デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「デバイス マネージャー」と入力します。入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。

3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャー]**をクリックします。ユーザー アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. **[デバイス マネージャー]**で、マイナス記号がすでに表示されている場合を除き、アンインストールまたは再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM、モデムなど）の横にあるプラス記号（+）をクリックします。
5. 表示されているドライバーをクリックし、**delete** キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバーを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。

削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。

6. **[デバイス マネージャー]**ウィンドウで、ツールバーの**[ハードウェア変更のスキャン]**アイコンをクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。

 **注記：** コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

7. 必要に応じて**[デバイス マネージャー]**を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。
8. プログラムを再度実行します。

初期設定のデバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

最新の HP デバイス ドライバーの入手

HP デバイス ドライバーを入手するには、以下のどちらかの手順で操作します。

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する方法および時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/jp/support/>を表示します。
2. **[ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]**オプションをクリックし、**[製品名・番号で検索]**フィールドにお使いのコンピューターの製品名または製品番号を入力してから、**enter** キーを押します。

または

特定の SoftPaq が必要な場合は、**[製品名・番号で検索]**フィールドに SoftPaq 番号を入力し、**enter** キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。

3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. Windows Vista®オペレーティング システムをクリックします。

5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. ファイルをダウンロードしないで更新されたドライバーをインストールするには、**[Install Now]** (今すぐインストール) をクリックします。

または

コンピューターにファイルを保存するには、**[Download only]** (ダウンロードのみ) をクリックします。メッセージが表示されたら、**[保存]** をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。

ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。

7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

最新の Windows デバイス ドライバーの入手

[Microsoft® Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この Windows の機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、<http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx> を表示します。
2. **[セキュリティ&アップデート]** をクリックします。
3. **[Microsoft Update]** をクリックしてコンピューターのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザー アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]** をクリックします。
5. **[変更する]** をクリックして、[Microsoft Update]で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

索引

- B**
 - BD
 - 挿入 20
 - 取り出し 22
- C**
 - CD
 - 書き込み 21, 27
 - 挿入 19
 - 取り出し 22
- D**
 - DVD
 - 書き込み 27
 - 挿入 19
 - 地域設定の変更 20
 - 地域設定 20
 - 取り出し 22
- H**
 - HDMI
 - コネクタ 14
 - 接続 14
 - 設定 14
 - HD 対応デバイス、接続 14
 - HP MediaSmart
 - 起動 8
 - 使用 20
- L**
 - LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM (2 層記録 (DL) 対応) 17
- W**
 - Web カメラ
 - 使用 23
 - ランプ 2
- い**
 - イヤフォン 2
- お**
 - オーディオ機能
 - 確認 11
 - オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ 2
 - オーディオ デバイス、外部接続 11
 - オーディオ入力 (マイク) コネクタ 2
 - オプティカル ディスク
 - 挿入 19
 - 取り出し、電源使用時 22
 - オプティカル ドライブ
 - 使用 16
 - 音量調整スライダー 3
 - 音量、調整 3
- か**
 - 確認、オーディオ機能 11
- こ**
 - コネクタ、外付けモニター 13
 - コネクタ
 - HDMI 14
 - オーディオ出力 (ヘッドフォン) 2
 - オーディオ入力 (マイク) 2
- せ**
 - 設定、HDMI 14
- そ**
 - 外付けオーディオ デバイス、接続 11
 - 外付けモニター コネクタ 13
 - ソフトウェア
 - Windows Media Player 9 インストール 10
 - マルチメディア 9
- ち**
 - 地域コード、DVD 20
- て**
 - デジタル デュアル アレイ マイク、位置 2
 - デバイス ドライバー
 - HP ドライバー 28
 - Windows ドライバー 29
- と**
 - 動画
 - 再生 20
 - 使用 13
 - トラブルシューティング
 - DVD 動画再生 26
 - HP デバイス ドライバー 28
 - Windows ドライバー 29
 - オプティカル ディスク トレイ 24
 - オプティカル ドライブ 検出 25
 - 外付けディスプレイ 27
 - ディスクの再生 25, 26
 - ディスクへの書き込み 27
 - デバイス ドライバー 27

な

内蔵デジタルデュアルアレイマイク、位置 2

ふ

プロジェクター、接続 13

へ

ヘッドフォン（オーディオ出力）コネクタ 2

ヘッドフォン 2

ほ

ボタン

再生/一時停止 4

次/早送り 4

停止 4

前/早戻し 4

ミュート（消音） 3

ま

マイク、内蔵 2

マルチメディアコンポーネント、確認 1

マルチメディアソフトウェアインストール 10

み

ミュート（消音）ボタン 3

め

メディア操作ホットキー 5

メディアボタン 4

も

モニター、接続 13

問題、解決 24

